

第4回ライフスタイルの多様化と関係人口に関する懇談会資料

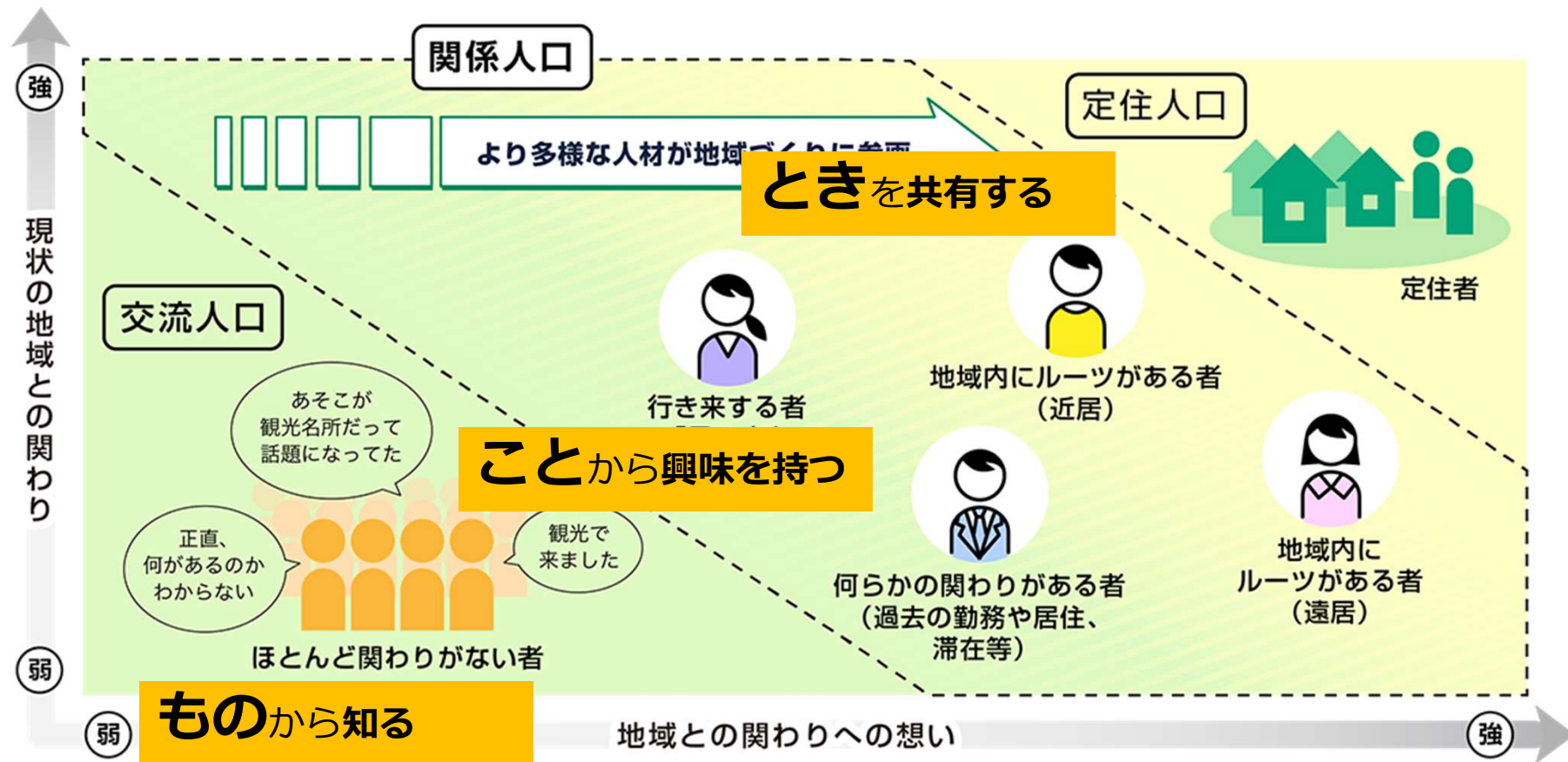
ひと・場・つながるしくみ

2020年11月10日

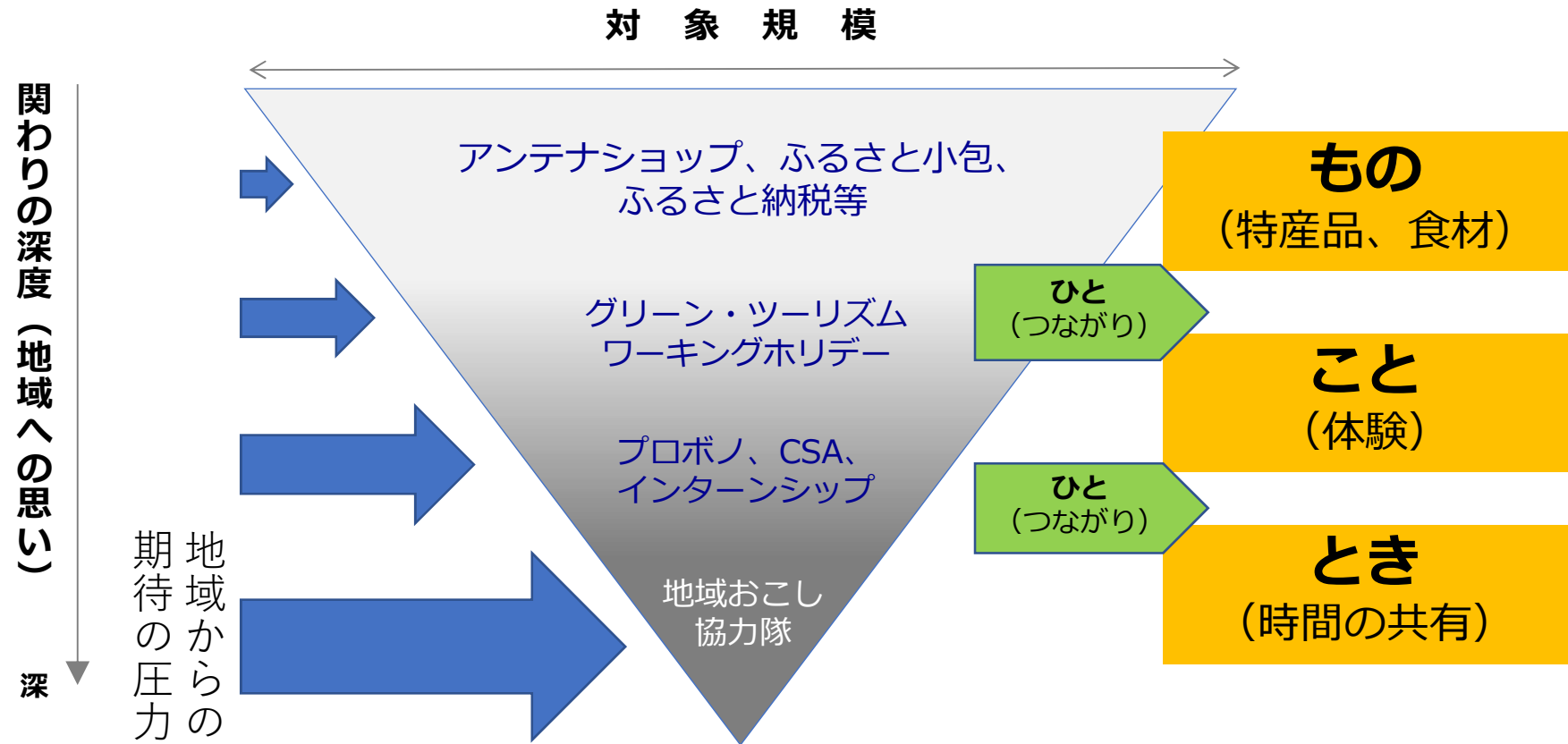
NPO法人ふるさと回帰支援センター

嵩 和雄

関わりのプロセスをつくる



関わりのステップをデザインする



「つながるしくみ」 しくみ=選択できる自由

・もの きっかけづくり

➤「食べる通信」

- ・ 作り手と消費者をつなぐメディア「食べ物付き情報誌」として2013年に「東北食べる通信」がスタート、このコンセプトに共感する人たちの手によって41地域に広がる。



・こと 「共感を育む」 親しみやすさ

➤「移住計画」

- ・ 2011年、京都移住計画からスタート。『「ひととひと」「ひとと地域」をゆるやかにつなぐ』というコンセプトに共感した人々が全国で「移住計画」を立ち上げ、現在22地域に広がる



京都移住計画
Kyoto migration project



福岡移住計画
Fukuoka Migration Project



・とき 限定・参加・貢献

➤「シェアビレッジ」

秋田県五城目町の古民家再生と信頼に基づいて形成された社会を目指し、古民家改修のCFからスタート。各種イベントに「共感」によって開かれる社会へ



つながる「場」づくり

- **実空間＋遠隔の関わり（こと＋とき）**

Ex) シェアビレッジの参加（村民化）の仕組み

「年貢（会費）」を納めると村民になれる

- ・都市部で行われる「寄合」
- ・現地での年に一度のお祭り「一揆」

- **実空間＋バーチャル（もの＋こと）**

Ex) 「食べる通信」から「ポケットマルシェ」へ

「買い手と売り手」という関係ではなく、生産者と消費者が直接繋がる直販（オンラインマルシェ）への展開＋

- **偶然性の場作り（とき＋不確実性）**

Ex) みんなの移住計画の「移住ドラフト会議」

プロ野球のドラフト会議に見立て、地域＝“球団”、移住志望者＝“選手”として、指名会議で地域側が移住志望者を指名するイベント

つなげる「ひと」

世話役・翻訳者・媒介者

・そこに暮らし続けるひと

定住者、住み続ける意思をもつ人

・消えゆく媒介者 ≡ ヨソモノ

定住はせずとも、関わり続ける人

「現在はある場所に留まっているが、漂泊の自由を放棄していない存在」

- ・きっかけをつくり、バトンをわたす
- ・いなくなることで役割を全うする